

東京新聞

定部金貳錢 廣告費五錢
 郵政五種 印刷費五錢
 電話六三〇番

二六月六日夕刊

指環時計常盤屋

平電三三九

美味の田町

電話三五二番

山船の港

片桐恒男、松枝鶴子助演 瀨良章太郎入社第一回主演

筑波嵐

南光明、河津精三郎、川田弘三、櫻木梅子共演

あすは決勝

スポーツ王選手権所有 瀨良章太郎入社第一回主演

キーロンの船長

アーネスト・トレンス 演 マリオン・バイロン 助演

吉田眼科醫院

内臟外科 醫學博士 藤本 順
 整形外科
 婦人科 院長 木村寅次郎

平町新川町 電話一六四番

木村病院

貸家案内

字白銀町 勤人向 金十圓
 全全 金廿五圓
 全全 金廿七圓
 全全 金廿八圓
 仲町 金十七圓
 全全 金十七圓
 全全 金十七圓
 全全 金十七圓
 全全 金十七圓

加藤營業所

白銀町(電話三三番)

藤沼醫院

入院 需應

平町紺屋町 電話長平五〇七番

愛地深獄

日活傑作中の一 原作……佛生寺彌作

監督……服部 秀

壁虎 藤十郎

清川莊司、永井寛二郎、川上彌生、中山介二郎

主演……片岡千恵藏
 市川小文治、川上彌生、川上彌生、川上彌生

愛して頂戴

原……大黒東洋士
 渡邊篤、龍田靜江、小藤田正一

獨唱……千鳥 君子

御進物には ヤマフルの商品券が一番

醤油味噌 たひら正宗 鯉節食料品

山崎合名會社

鹽屋 福島縣平町 電話(營業部)二七〇番 (醸造工場)二七〇番



木村清治君

立憲政友會公認候補者

人格手腕 識見 徳望の點に於て 衆議院議員の適材と認め是に推薦し極力その當選を期す

石城政友部會

責任者 石城部平町字三丁目三番地 山田忠太郎

廣告薦推

共濟病院内

內科	醫學博士 難波 陸
外科	醫學博士 氏家 憲介
產婦人科	醫學博士 松 枝 茂
耳鼻咽喉科	醫學博士 井上 俊次郎
×光線科	醫學博士 渡 部 貞助
衛生試驗所	醫學博士 工 藤 慶造
藥局	局長 小 熊 英夫
本院醫事	法學士 岡 本 孝平
本院主事	賀 澤 忠 治

本院醫事 法學士 岡 本 孝平

本院主事 賀 澤 忠 治

救療を申込まれる、御方は當相談所に御話し下さい

○入院自炊ノ便アリ
 ○看護婦見習募集

共濟會

平町(電話六四二番)

俄然石城郡下は 大混戦地と化す

遅れ走せの佐藤氏を加へ 入乱れて掻集む

石城郡は二名の候補者があり相當接戦をうけておるが、松本孫右衛門氏にかつて石城郡出身の政友會支部幹事長佐藤庄太郎氏が出馬する事に確定した結果石城郡は俄然

第三區

を通じての最大混戦地と化した、政友公認木村清治、民政公認比佐昌平兩候補は石城郡に於て當選點に達する得票をとらねばならず、死力を盡して運動を續けてゐるのであるが、民政黨部會に於ける分裂騒ぎがたゞり野崎縣議の一派は相馬、双葉を中心

立候補

した民政黨公認木村清治を正式に應援する事になつた、前回の選挙で落選した氏家は石城郡で八百票の得票であつたが、野崎氏等の應援に依つて二千票以上は氏家に動くものと見られて居り相馬双葉で

絶大な

人氣を持つ氏家候補は石城郡の得票増加に依つて最高點當選を豫測されてゐる程である、一方遅れ馳せながら馬を陣頭に進めた政友會佐藤庄太郎氏は相馬、双葉に於て松本氏以上の得票を求めること

困難で

あり結局相双に於て減する分を石城郡から補充せねばならなくなる、佐藤氏は石城郡出身であり相當地盤もあるが、佐藤氏の出現は石城政界殊に政友部會に一大ショックを與へてゐる、斯くの如く四候補が石城郡を

中心に

入みだれて戦ひを續ける結果となり大混戦地帯と化した譯である野崎派の氏家候補應援に依つて比佐候補は苦戦を傳へられ一方佐藤氏の出馬は木村候補に大打撃を與へた、相馬、双葉を中心立候補する兩氏は當選を目的として當然石城郡に進出せねばならない、此の混戦は

當然の

結果でもあるが選挙民も何人を選ぶかについて大いに頭を悩まされる譯である

不在者投票の

棄權防止策

各濱の漁夫が

出漁中の投票

石城郡小名濱、江名、豊間四倉の三河一ヶ村では来る二十日の投票日當日出漁中の漁夫の爲めに不在投票をなさしむるべくそれ／＼準備

備をなしつゝあるが

前回の選挙には不在投票の趣旨が徹底しなかつた爲めに不在投票をなしたものは小名濱で四十餘名にすぎず大半は棄て、しまつたので今後は棄權をさせない様に出るだけ便宜を圖つて投票させる方針であり前記三町一ヶ村で不在投票数は約五百票に達するものとみられてゐる

興味を唆る

朝鮮文字投票

約百票か

平警察署管内の鮮人有權者は約三百名でこのうち日本文字を書けるものは約三十名に過ぎず過般來問題となつた朝鮮假名文字を書ける者約百名である同文字は選挙投票に有効と認められてゐるので炭礦區域の投票場は興味をそゝられてゐる

起債の陳情書

選舉直後に

平町の水道擴張工事起債認可運動に對する町民の賛成調印は各區長が大馬力をか

授與式延期

選舉終了後迄

昨報縣水産會の漁獲最高の江名町加澤一造氏所有船萬勢丸に對する優勝旗授與式は来る十二日の豫定であつたが、目下總選舉運動の眞最中にあり多數の賛成を催すことは個々の面接を容易ならしめ弊害を誘發するおそれがあるのでこれを廿三日以後に延期することとなり縣から四日同漁業組合へ通牒した

矢庭に

飛び掛る

酌婦と立話中

平町鎌田町新妻光雄(二)は去る二日午後八時頃南町松本芳次郎方に赴き歸宅の途中南町某飲食店の酌婦三名と立話をしていると平町四丁目某飲食店小野ツンの内

飛び掛る

酌婦と立話中

矢庭に

飛び掛る

酌婦と立話中

平町鎌田町新妻光雄(二)は去る二日午後八時頃南町松本芳次郎方に赴き歸宅の途中南町某飲食店の酌婦三名と立話をしていると平町四丁目某飲食店小野ツンの内

矢庭に

飛び掛る

酌婦と立話中

平町鎌田町新妻光雄(二)は去る二日午後八時頃南町松本芳次郎方に赴き歸宅の途中南町某飲食店の酌婦三名と立話をしていると平町四丁目某飲食店小野ツンの内

矢庭に

飛び掛る

酌婦と立話中

平町鎌田町新妻光雄(二)は去る二日午後八時頃南町松本芳次郎方に赴き歸宅の途中南町某飲食店の酌婦三名と立話をしていると平町四丁目某飲食店小野ツンの内

矢庭に

飛び掛る

酌婦と立話中

平町鎌田町新妻光雄(二)は去る二日午後八時頃南町松本芳次郎方に赴き歸宅の途中南町某飲食店の酌婦三名と立話をしていると平町四丁目某飲食店小野ツンの内

矢庭に

飛び掛る

酌婦と立話中

平町鎌田町新妻光雄(二)は去る二日午後八時頃南町松本芳次郎方に赴き歸宅の途中南町某飲食店の酌婦三名と立話をしていると平町四丁目某飲食店小野ツンの内

入山落盤重傷

石城郡湯本町入山炭礦坑夫長屋居住先山夫高橋久五郎(三)は去る四日午後五時半頃同炭礦坑内で作業中落盤の下敷となり重傷を負つたので直ちに入山炭礦病院に入院せしめ加療中であるが生命危篤である

耳の鬼

物すごい年寄近頃シヤトルの夜學校に通つて自動車の操縦を懸命に勉強してゐる男がある、名はエドウィンアイズイ君、年は八十一歳、自動車は大分巧くなつた、これを卒業したら今度は飛行機だ、たつた八十一歳ぢやないか」とはすごい鼻息

眼鏡

トキハヤ

蓄音器

平町一丁目

眼 鏡

トキハヤ

蓄音器

平町一丁目

眼 鏡

トキハヤ

蓄音器

平町一丁目

眼 鏡

トキハヤ

蓄音器

平町一丁目

大浦農會の

表彰記念

石城郡大浦村農會は此程帝國農會より表彰されたが来る二月九日午前十時より同村小學校講堂に於て之が披露式を兼ね表彰記念農事講演會を開催する事になつた演題及講師は左の如くである

高野試補任官

石城郡草野村出身司法官試補高野元氏(警中二十三回卒業)はこのほど東京區裁判所検事代理を命ぜられた

高橋時計店

平町土橋通り

高橋時計店

平町土橋通り

高橋時計店

平町土橋通り

高橋時計店

平町土橋通り

高橋時計店

平町土橋通り

高橋時計店

平町土橋通り

高橋時計店

平町土橋通り

高橋時計店

平町土橋通り

高橋時計店

平町土橋通り

高橋時計店

平町土橋通り

高橋時計店

平町土橋通り

高橋時計店

平町土橋通り

高橋時計店

平町土橋通り

夫婦喧嘩で狂言自殺

女房に行かれては大變と

石城郡神谷村大字上神谷字鎌田二六自轉車營業鈴木徳次郎(三)は去る一月三十一日午後五時頃工業用の硝酸を嚥下して自殺を圖つたので平町遠藤醫師が駆け付け緊急手当を施したるも生命危篤なる旨同醫師より平署に報告があつたので同署より橋谷田部長出張して取調べると目録とは眞赤な偽りに本人が平然としてゐるのに同部長もあきれたが鈴木は昨年春妻キミヨ(三)を迎ひ子供まで出来た處最近二

僅かに二名

藝妓の年齢

平町を中心に石城郡は花柳街が發達して居り縣下各地を通じて常に第一指を屈せられてゐる罷である平署管内と云つても藝妓のゐるのは平町を筆頭に湯本小名濱の二町であるがその数は大百九十八名、小十二名、合計二百十名の多きに達してゐる平署では此の藝妓連の年齢について昨年未現在で調査をしたがそれに依ると二十歳以上二十五歳未満が一番多く七十三名あり所謂中堅どころとして重きをなしてゐる事になる、次は十七歳以上二十歳未満で五十六名、十四歳以上十七歳未満が五十三名となつてゐる姥櫻として活躍してゐる三十五歳以上及び四十歳以上

脳溢血を起

さぬ養生法

腦溢血はその素質が遺傳します平たく云ひば體質が遺傳してゐるが、後天的には飲酒や梅毒のために腦溢血を誘起することもあります、腦溢血を豫防することは何の難作もないことです、ほんとなにたやすいことですか、どうしたらよいかといへば、少年時代から絶対に禁酒してゐたらよろしい、禁酒してゐれば従つて花柳の巻に

矢庭に

飛び掛る

酌婦と立話中

平町鎌田町新妻光雄(二)は去る二日午後八時頃南町松本芳次郎方に赴き歸宅の途中南町某飲食店の酌婦三名と立話をしていると平町四丁目某飲食店小野ツンの内

矢庭に

飛び掛る

酌婦と立話中

平町鎌田町新妻光雄(二)は去る二日午後八時頃南町松本芳次郎方に赴き歸宅の途中南町某飲食店の酌婦三名と立話をしていると平町四丁目某飲食店小野ツンの内

矢庭に

飛び掛る

酌婦と立話中

平町鎌田町新妻光雄(二)は去る二日午後八時頃南町松本芳次郎方に赴き歸宅の途中南町某飲食店の酌婦三名と立話をしていると平町四丁目某飲食店小野ツンの内

矢庭に

飛び掛る

酌婦と立話中

平町鎌田町新妻光雄(二)は去る二日午後八時頃南町松本芳次郎方に赴き歸宅の途中南町某飲食店の酌婦三名と立話をしていると平町四丁目某飲食店小野ツンの内

矢庭に

飛び掛る